

令和8年9月29日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）学校活性化地域協議会の活動結果の検証について

私立高校との通学方法の格差も踏まえ、学校活性化地域協議会での協議及び活動結果をどのように検証するのか、教育長の所見を伺う。

また、その検証結果を今後の学校運営にどのように反映していくのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

1 学年 1 学級規模の県立高等学校につきましては、学校関係者や地域住民等で構成する学校活性化地域協議会において検討された活性化策に基づき、地元自治体や地域の皆様から様々な御支援を頂きながら、生徒数の確保や学校の魅力化などに向けた取組が進められているところでございます。

具体的には、

- ・ 全国募集のPR費用を確保するための募金活動、
- ・ クラウドファンディングを活用した高校用下宿の改修、
- ・ 地元自治体による通学に係る費用の補助

などの取組が進められ、特色化・魅力化が図られている学校がある一方で、生徒数の確保までにはつながっていない学校もございます。

こうした各協議会の活動状況につきましては、高校魅力化評価システムを活用し、個別にフィードバックして改善につなげるとともに、地元中学校からの聴き取りや地元自治体の意見等を基に、まずは地元から選ばれ、他の地域からも魅力を感じられるような、その学校ならではの教育活動の充実に生かすことにより、「生徒数の確保」や「地域課題を取り上げた探究活動」の充実などの取組を進めることとしております。

教育委員会といたしましては、引き続き、学校活性化地域協議会と連携した取組の成果や課題を把握・検証し、生徒の成長と活躍につながる教育活動の充実と、地域内外から選ばれる取組の改善など、学校運営に反映していくとともに、こうした取組の成果が上げられるよう、しっかりと伴走支援をしてまいります。